

学校番号	20	学校名	茨城県立水戸工業高等学校
------	----	-----	--------------

令和7年度道德教育全体計画

諸法規		校訓		生徒の実態	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・教育諸法規 ・学習指導要領		至誠 勤勉 協同 敬愛 質実 剛健		・活発で行動的な生徒が多い。 ・自己中心的なものの考え方を もっている生徒が少なくない。 ・就職・進学希望の生徒の数は ほぼ同数である。 ・進路に関する目的意識を持っ て入学してきた生徒も多い。 ・科によって、生徒の意識や在 り方に違いが見られる。	
保護者の願い		学校の教育目標		地域の実態	
・思いやりがあり、人に親切になってほ しい。 ・資格を取得し、進路を実現してほしい。 ・自主的に学習や運動に取り組んでほ しい。		道德教育重点目標		・水戸駅の南およそ3kmに位置し、 学校周辺は住宅および商業施設を 中心とした地域である。 ・国道に面するため車の交通量が多い。	
各教科・科目		特別活動		生徒指導	
国語	様々な文章を読むこと、他者の意 見を聴くこと、また話すこと・書くこ を通して、自身の心情を豊かにす るとともに他者を尊重する人間の 育成を図る。	ホームルーム活動		・頭髮、服装の指導を通して規 範意識を養う。 ・授業をきちんと受けることを徹 底する。 ・挨拶運動を通して豊かな社会 性や人間性を培う。 ・登下校のマナー指導を実施 し、公共マナーや自転車走行 マナー等を守る態度を育成す る。	
地歴	我が国及び世界の歴史や地理 的認識を深め、国際社会で主 体的に生きるものとしての自覚 と資質を育てていく。	・高校における集団生活について理解を深め、学校 生活への適応を図り、学習意欲と学校行事への積 極的な参加意識を育てる。 ・生活に自主性と自立性をもたせ規律と責任を重ん じる態度を養う。他者を思いやる気持ちを育て社会 性ある心身共に健やかな人間育成に努める。 ・自己の適性と能力を自覚させ望ましい職業観・勤 労観をもたせるとともに進路決定の力をつけ社会に 適応できる健全な人格育成を図る。		家庭との連携	
数学	事象を数学的に考察し処理 する能力を伸ばすとともにそ れらを活用する態度を育て る。	・生徒会活動 委員会活動や生徒会活動を通し、生徒の生徒会活動(本部・ 各種常任委員会)への参加及び意識を高める。		・遅刻、早退、欠席などの連絡 について家庭との連絡を密に する。 ・学校の方針を保護者に説明 し、理解を求める。 ・保護者との面談を充実させ る。	
理科	自然に対する関心や知識を 高め、科学的思考によって 物事を判断する能力を養 う。	・部活動 部活動の活性化と強化を図り、自主性・協調性を育む。		地域社会との連携	
保体	様々な運動の実践を通 し、相手を思いやり、協力 し合う態度を養う。	公民科		・専門高校として地域社会、産 業の発展に貢献できるものを 求めるとともに地域との連携を はかる。 ・アンケート、学校公開を実施 して地域の関心と理解を深め る。 ・体験学習を通して、地域社会 との関係を深める。	
芸術	美術の創造活動を遊び味わ う態度を育成し、生涯にわ たって美術を好する心情と 豊かな情操を養う。	公共			
外国語	異文化を理解、尊重する態 度を養うとともに、言語習得 とコミュニケーション活動の 育成に努める。	・平和で民主的な社会を形成するために必要な多角的・ 多面的な思考力を育成し、日本人としての生き方を考えさ せる。 ・探究型学習の時間を設け、グローバル化する国際社会 に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。			
家庭	家庭や家族、社会の意義を考えさせ生き る力を育てるとともに、自立するために必 要な知識と技術を習得させる。また、男 女が助け合いながら社会を築き上げる実 践的な態度を育てる。	・地域の諸課題について、諸資料から様々な情報を適切 かつ効率的に調べまとめる技能を身に付け、解決に向け て公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に 入れた議論する力を養う。			
情報	「情報活用の実践力」、「情 報の科学的な理解」、「情報 社会に参画する態度」を養 う。				
総合的な探究の時間	・社会と自らの生き方を関連付 けて考え、主体的に自身の進 路を拓く姿勢と態度を養う。 ・生涯にわたって主体的に学び 続ける「生きる力」の醸成。 ・基本的な生活習慣と規範意識 の確立。				
専門	「美しい国土」、「安全にして安心できる生 活」、「豊かな社会」をつくり、改善し維持 するために、その技術を活用し、品位と 名誉を重んじ、知徳をもって社会に貢献 できる態度を養う。				